

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！ 京都市会議員

発行：2018年9月30日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



オール与党の
悪政と対決

いのち・暮らしを守る京都市政に全力!!

2018「京都まつり」に1万4千人



中央舞台上で、小池書記局長を迎えて行われた「本気の共闘は進化する」座談会。福山和人さん、倉林明子さんらと市民のみなさんが熱く訴えた

伏見の広場で来春の統一地方選勝利で府会2名市会3名の必勝を誓う。伏見の府市会議員と予定候補が勢ぞろい▼



9月24日、宝ヶ池公園で日本共産党の京都まつりが開かれ、多くの参加者で賑わいました。中央舞台では小池晃書記局長で参議院議員、倉林明子参議院議員、井上さとし参議院議員の講演や挨拶、来年4月に予定されている統一地方選挙の候補者紹介が行われました。伏見のテントでは、4月の統一地方選挙で必ず府会2名市会3名の勝利に向けて頑張ることを誓い合いました。



補正予算案が可決

2018年度の決算を審議する議会が9月19日から10月25日の会期で始まりました。

9月20日に開かれた予算特別委員会に提案された補正予算案は、大阪北部地震と7月豪雨での被害の復旧のための予算が中心です。補正の総額は88億1400万円です。危険なブロック塀対策や河川、道路、公園で緊急度の高いものへの対応です。審議の中で日本共産党はブロック塀撤去について民間保育所は事業者負担4分の1、児童館は事業者が3分の1負担であることを指摘

し、ブロック塀の撤去、フェンスの設置について「基準に適合していない危険なブロック塀というが、これまで放置してきたことに反省をして、今後の教訓にすべき。」
「危険な市営保育所のブロック塀をそのまま民間に移管しておいて、責任を民間保育所に押し付けることは問題だ。全額市で負担すべき。」と指摘しました（21号台風の分は追加提案予定）。
補正予算案の中には賛成しかねるものがありますが、災害対応は必要なものなので日本共産党は賛成しました。



敬老乗車証制度を守ろう！第13次署名提出

8月21日に敬老乗車証制度の改悪に反対する署名が京都市に提出されました。

今回、京都市に対して提出された署名は、3,440人分で、これまでに提出された署名は合計40,620人分になりました。これまでも市民の皆さんの声が京都市を動かしてきました。

「敬老乗車証が改悪されれば負担が増えるので外出を控えることになる。病院に行く回数を減らすことになれば健康にも影響が出る」と多くの声が出されています。

さらに署名を集めて、京都市が改悪を断念するまで一緒に頑張りましょう！



市民情報

車イスでも安心して乗車できます

醍醐コミュニティバス
新車4台導入



2004年に醍醐コミュニティバスが走り出してから14年半。かなり老朽化が目立っていました。今回、4台の新車が導入されることになり、お披露目されました。より段差が低く、車いすにも対応できます。2006年からは住民の皆さんの声で福祉・敬老乗車証が使えるので、地域の足として定着しています。運営は大変でしょうが「白い貴婦人」の愛称でいつまでも醍醐の街を走ってほしいですね。